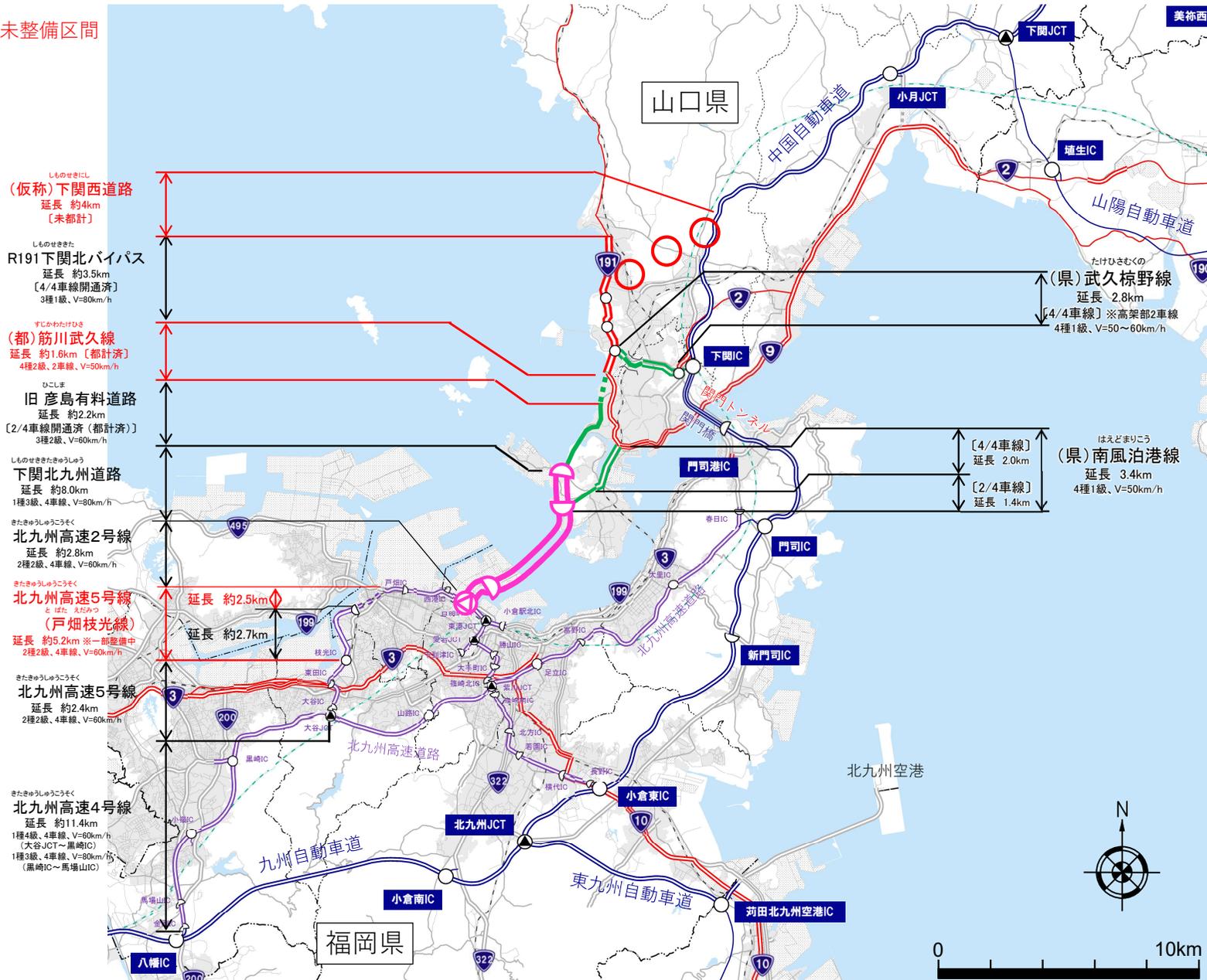


関門海峡周辺の道路ネットワークの利用形態について

関門海峡周辺の道路ネットワーク

○下関北九州道路は、北九州高速道路、旧彦島有料道路等を経由して中国縦貫自動車道、関門自動車道、九州縦貫自動車道により構成される、本州から九州間を結ぶ高速自動車国道に接続する。

* 赤字は未整備区間

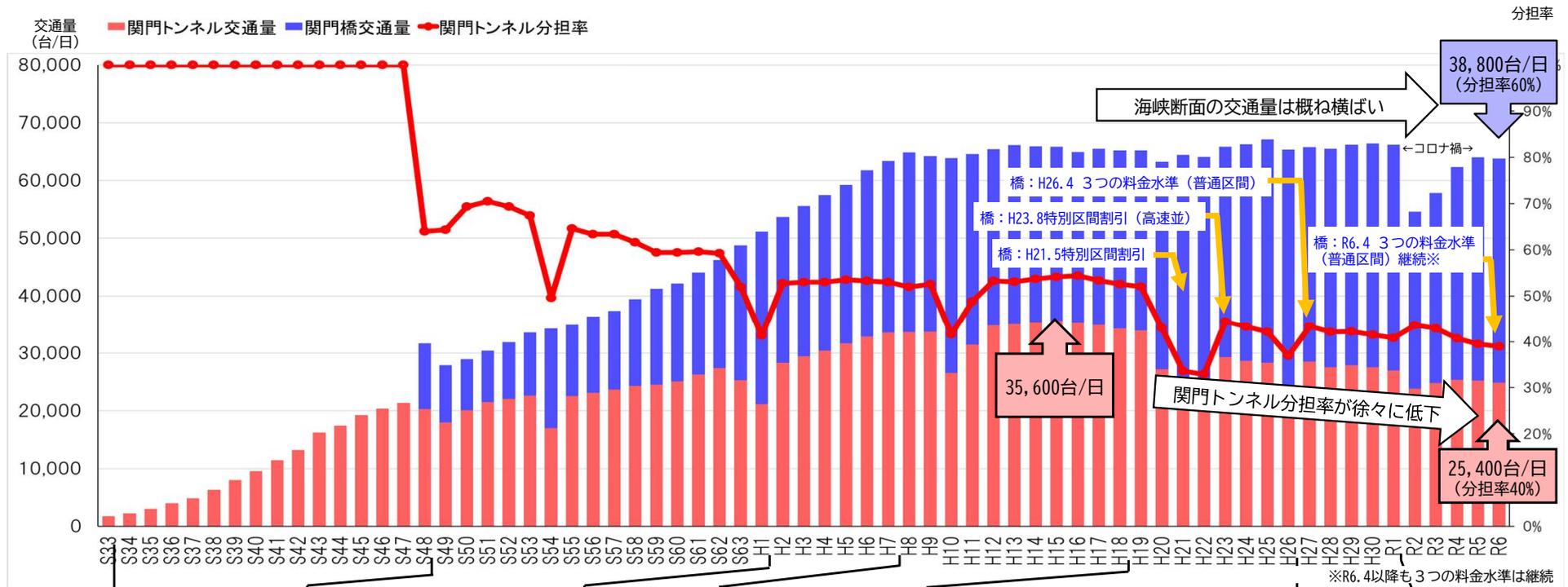


<凡 例>

- 道路種別
 - 高速自動車国道
 - 都市高速道路
 - 一般国道(国管理)
 - 県道
- 車線数
 - ≡≡≡ 6車線
 - ≡≡ 4車線
 - ≡ 2車線

関門橋・関門トンネルの交通量の推移

- 関門海峡断面での関門橋、関門トンネルの合計交通量は、約64,000台。
- そのうち、関門橋が約6割、関門トンネルが約4割を分担。



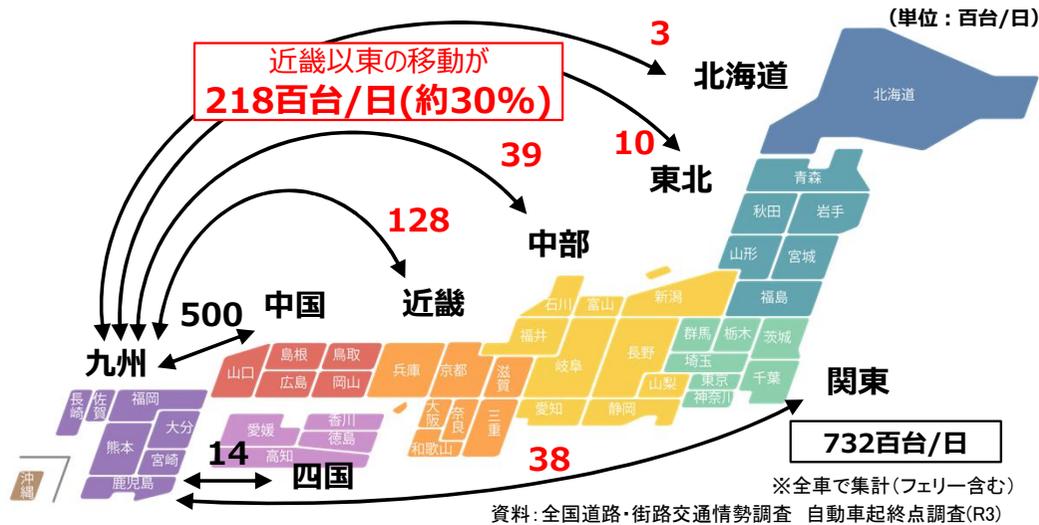
関門トンネル	S33.3.10~S48.11	S48.11~H1.3 維持管理有料道路に移行	H1.4~H7.12 消費税導入	H7.12~H18.3 大規模改良工事实施	H18.4~H26.3 民営化移行	H26.4~R1.9 消費税8%	R1.10~ 消費税10%	
普通車料金	350円	150円	150円	200円	150円	150円	160円	
関門橋	-	S48.11~H7.4	H7.4~H21.5		H21.5~H23.7 特別区間割引	H23.8~H26.3 特別区間割引	H26.4~R1.9 消費税8%	R1.10~ 消費税10%
普通車ETC料金 (非ETC車)	-	300円	350円		300円 (350円)	250円 (250円)	280円 (360円)	280円 (370円)

※関門トンネルの料金は、令和8年6月1日より230円、令和12年頃に300円に変更予定

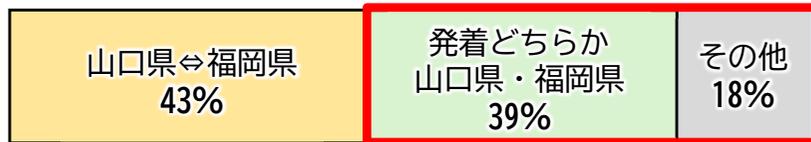
関門橋・関門トンネルの利用交通特性

- 九州地方と全国の広域的な流動を見ると、近畿地方以东の長距離利用は約3割存在。
- 関門橋は、200km以上の長距離利用が多く、九州～本州間の広域移動の中心となっている。
- 関門トンネルは、50km以下の近距離利用が中心であるものの、長距離利用も一定程度担っている。

関門橋・関門トンネルを利用する交通流動



山口県⇄福岡県の行き来以外の利用が約6割

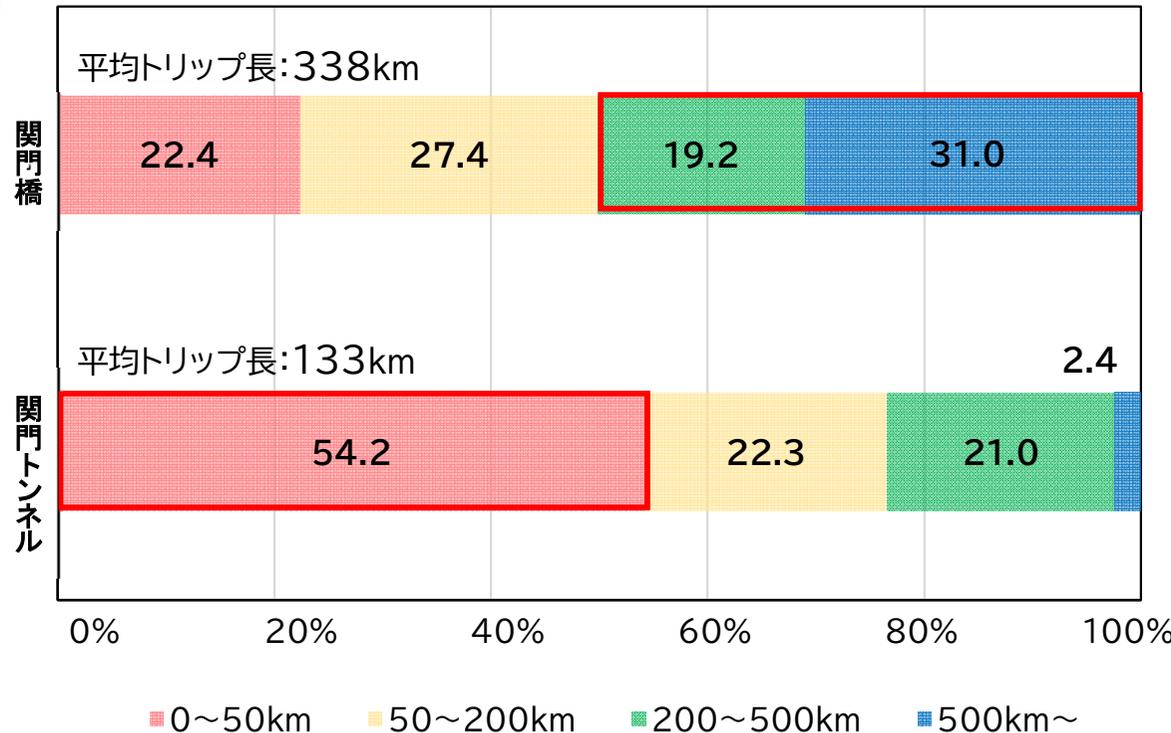


山口県⇄福岡県の行き来の利用が約8割



資料: 全国道路・街路交通情勢調査(R3)を加工してNEXCO西日本で作成

関門トンネル・関門橋のトリップ長分布



資料: 全国道路・街路交通情勢調査(R3)を加工してNEXCO西日本で作成

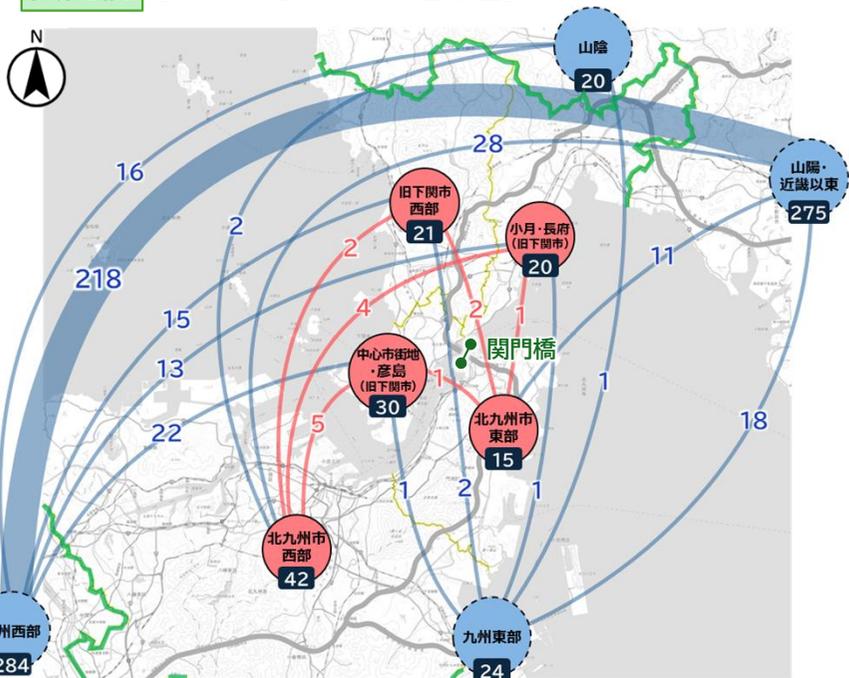
(関門橋)

(関門トンネル)

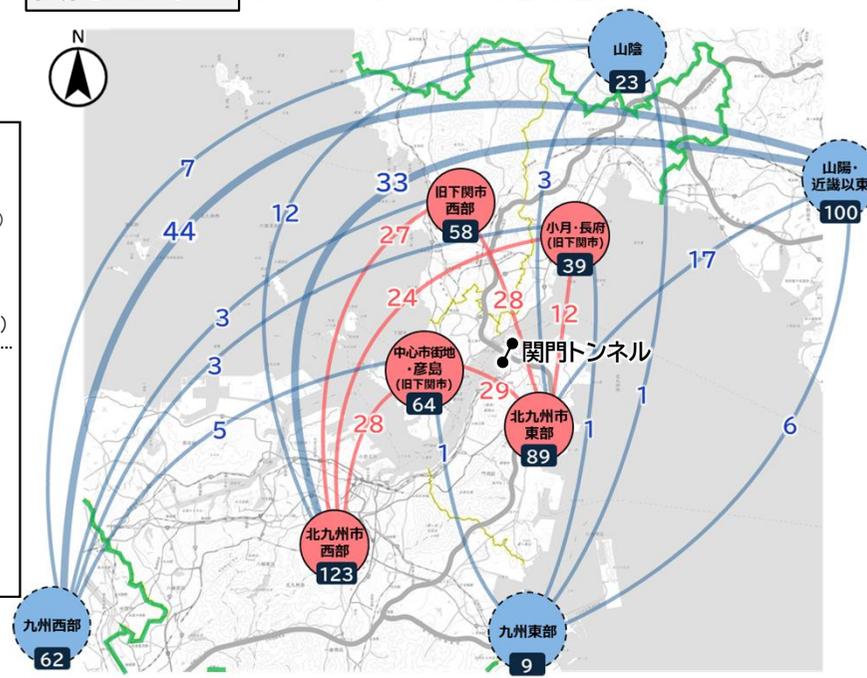
関門橋・関門トンネルの利用交通特性

- 関門橋の利用交通は、市域(旧下関市と北九州市)を越える長距離の利用が約9割以上を占める。
- 関門トンネルの利用交通は、旧下関市と北九州市域を結ぶ市域間交通が5割強を占める。

関門橋【本州～九州間の交通特性】



関門トンネル【本州～九州間の交通特性】

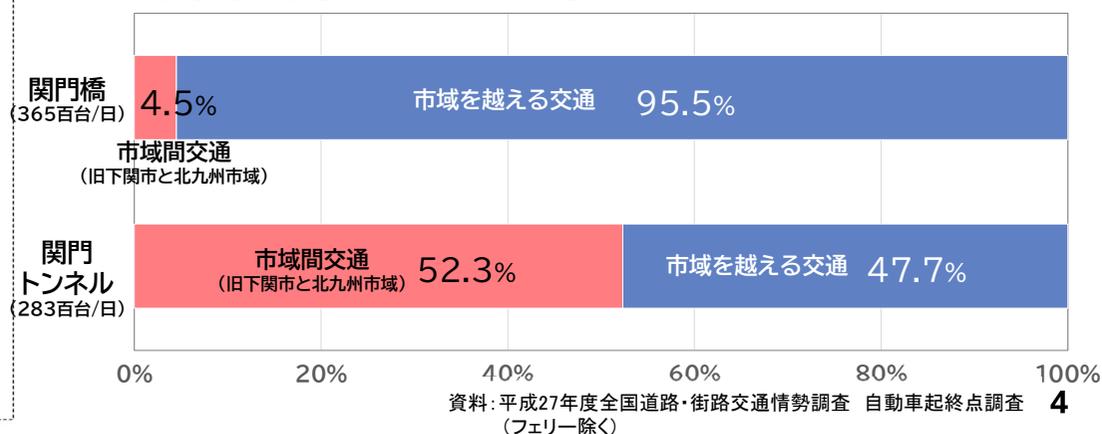


《本州側のゾーン区分》

- ・「中心市街地・彦島」「小月・長府」「旧下関市西部」: 下図のとおり
- ・「山陽・近畿以東」: 下関市以外の山口県、広島県以東
- ・「山陰」: 旧下関市以外の下関市、萩市、長門市、阿武町、島根県、鳥取県



【関門橋、関門トンネルのOD内訳】



下関市・北九州市の渋滞状況

○下関市や北九州市の中心部及び両市を接続する関門トンネル周辺では渋滞が発生。



①国道2号：印内交差点



②国道2号：関門トンネル（下関側）



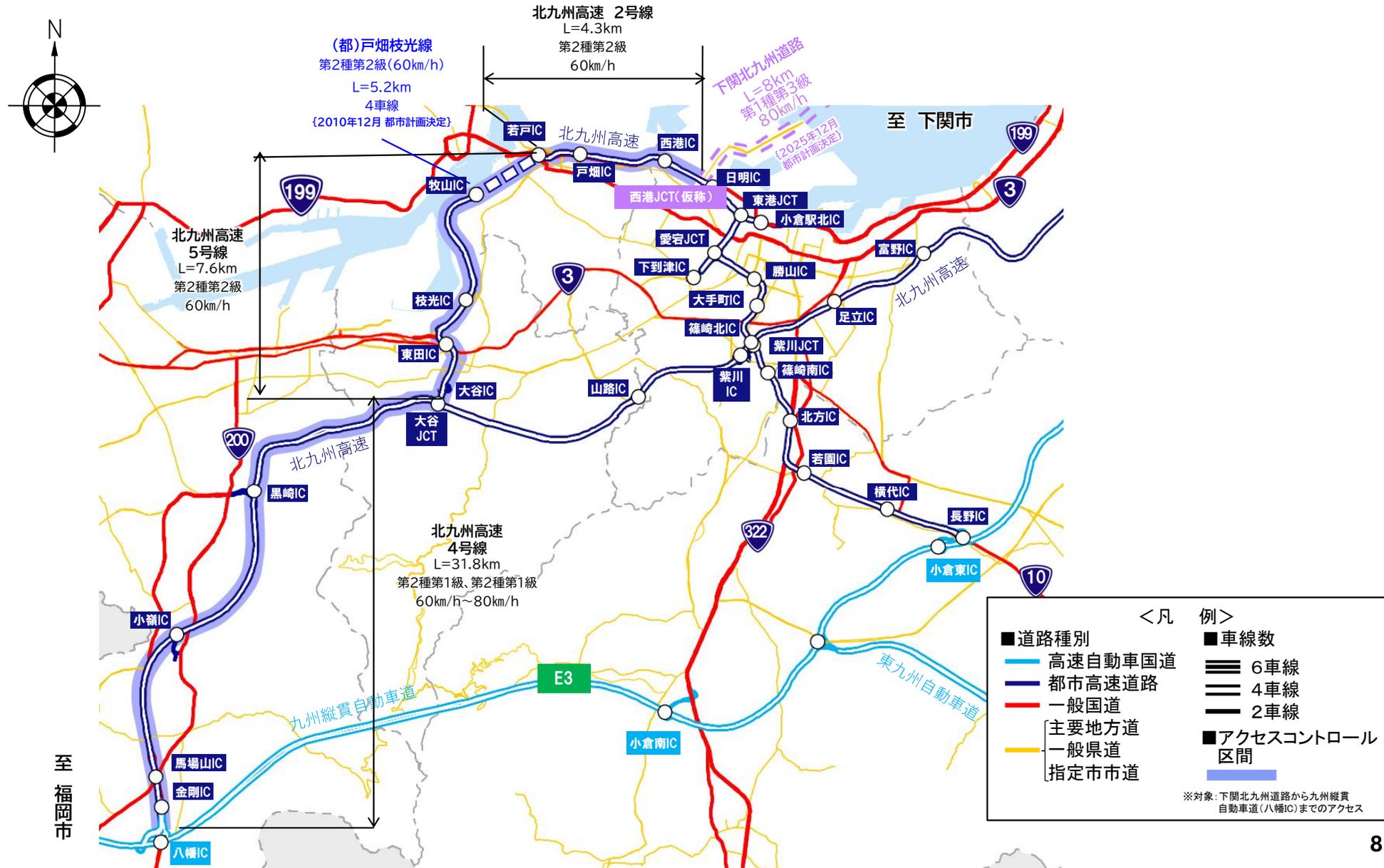
③国道3号：三萩野交差点



資料：
 [速度図]ETC2.0データ(R7.10月平日)18時台
 [交通量]R3全国道路・街路交通情勢調査
 [主要渋滞箇所]九州地方整備局、中国地方整備局HP(R7.9)

関門海峡周辺の道路ネットワーク(北九州市側)

- 下関北九州道路から九州縦貫自動車道(八幡IC)までのアクセスは、(仮称)西港町JCTから自動車専用道路である北九州高速を経由して接続される。
- 北九州高速5号線(都)戸畑枝光線(牧山IC~若戸IC)は現在、事業中。



関門海峡周辺の料金体系

○関門海峡周辺においては、料金体系や管理主体の異なる道路ネットワークとなっており、路線ごとに異なる料金体系、車種区分となっている。

<中国道～関門橋(下関～門司港)～九州道>

車種区分	軽自動車等	普通車	中型車	大型車	特大車
車種間比率	0.8	1.0	1.2	1.65	2.75
料金 (対距離料金)	24.6円/km ※ターミナルチャージ150円を除く				

ETC車に限定して、関門橋の料金水準を「普通区間」24.6円/kmに引き下げ
(現金車の場合は64.0円/km)

管理主体:西日本高速株式会社

中国縦貫道

<関門トンネル>

(税込)

車種区分	軽車両等	軽自動車等	普通車	中型車	大型車	特大車
車種間比率 ※普通車を1.0とした場合	0.1	0.67	1.0	1.31	1.63	2.63
現行料金 (均一料金)	20円	110円	160円	210円	260円	420円
令和8年6月1日から	20円	160円	230円	300円	370円	600円
令和12年頃から	30円	210円	300円	390円	490円	790円

<北九州高速>

(税込)

車種区分	普通車	大型車
車種間比率 ※普通車を1.0とした場合	1.0	2.0
料金 (均一料金)	520円	1,050円

管理主体:福岡北九州高速公社

下関IC

門司IC

小倉東IC

八幡IC

九州縦貫道

凡例

- 下関北九州道路
- 関門橋・中国道・九州道
- 関門トンネル
- 北九州高速道路

関門海峡周辺の経路別の利用料金

○関門海峡周辺においては、料金体系や管理主体の異なる道路ネットワークとなっており、経路ごとに異なる料金設定となっている。

例：中国道・小月IC(山口県)^{おづき}→九州道・鞍手IC(福岡県)^{くらて}の場合(ETC普通車)

<路線名>	<料金体系>	<料金・料率>(普通車)
関門橋(下関～門司港) 中国道 九州道	対距離	24.6円/km (ターミナルチャージを除く)
関門トンネル	均一料金	160円※1
北九州高速	均一料金	520円

※1関門トンネルの料金は、令和8年6月1日より230円、令和12年頃に300円に変更予定

凡例

- 下関北九州道路
- NEXCO西日本
- 北九州高速道路
- 一般道

下関北九州道路・北九州高速経由
約50km/約50分
普通車(ETC) 1,390円+下関北九州道路
(内訳)
小月IC～下関IC 580円
北九州高速 520円
八幡IC～鞍手IC 290円

北九州高速経由
61.1km/52分
普通車(ETC) 1,650円
(内訳)
小月IC～門司IC 840円
北九州高速 520円
八幡IC～鞍手IC 290円

九州道経由
61.0km/44分
普通車(ETC) 1,820円
小月IC～鞍手IC 1,820円

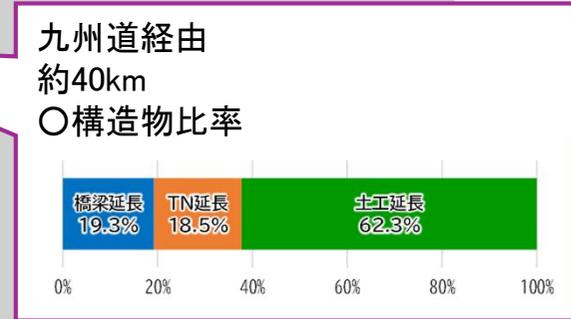
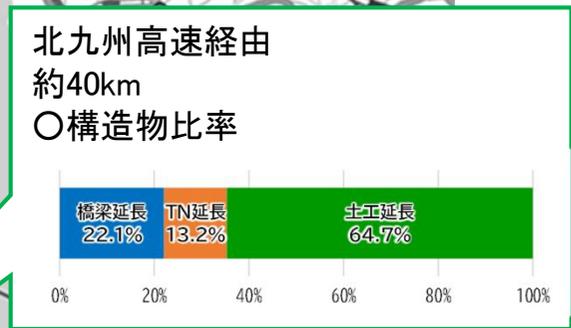
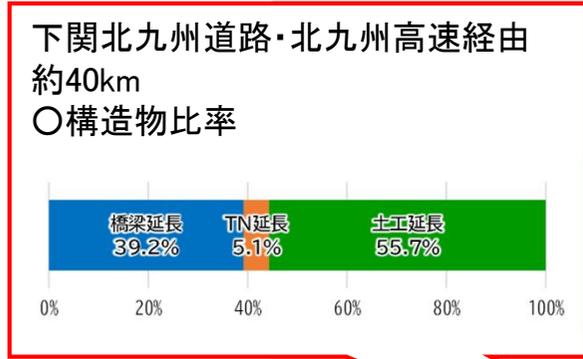
北九州高速経由、九州道経由ともに関門橋を通行

料金は下記の仮定のもと算出
・小月ICから下関ICまで中国道を走行
北九州高速の区間(約10km)を60km/hで走行と仮定
下関北九州道路区間(約8km)を約80km/hで走行と仮定

関門海峡周辺の経路別の構造物の状況

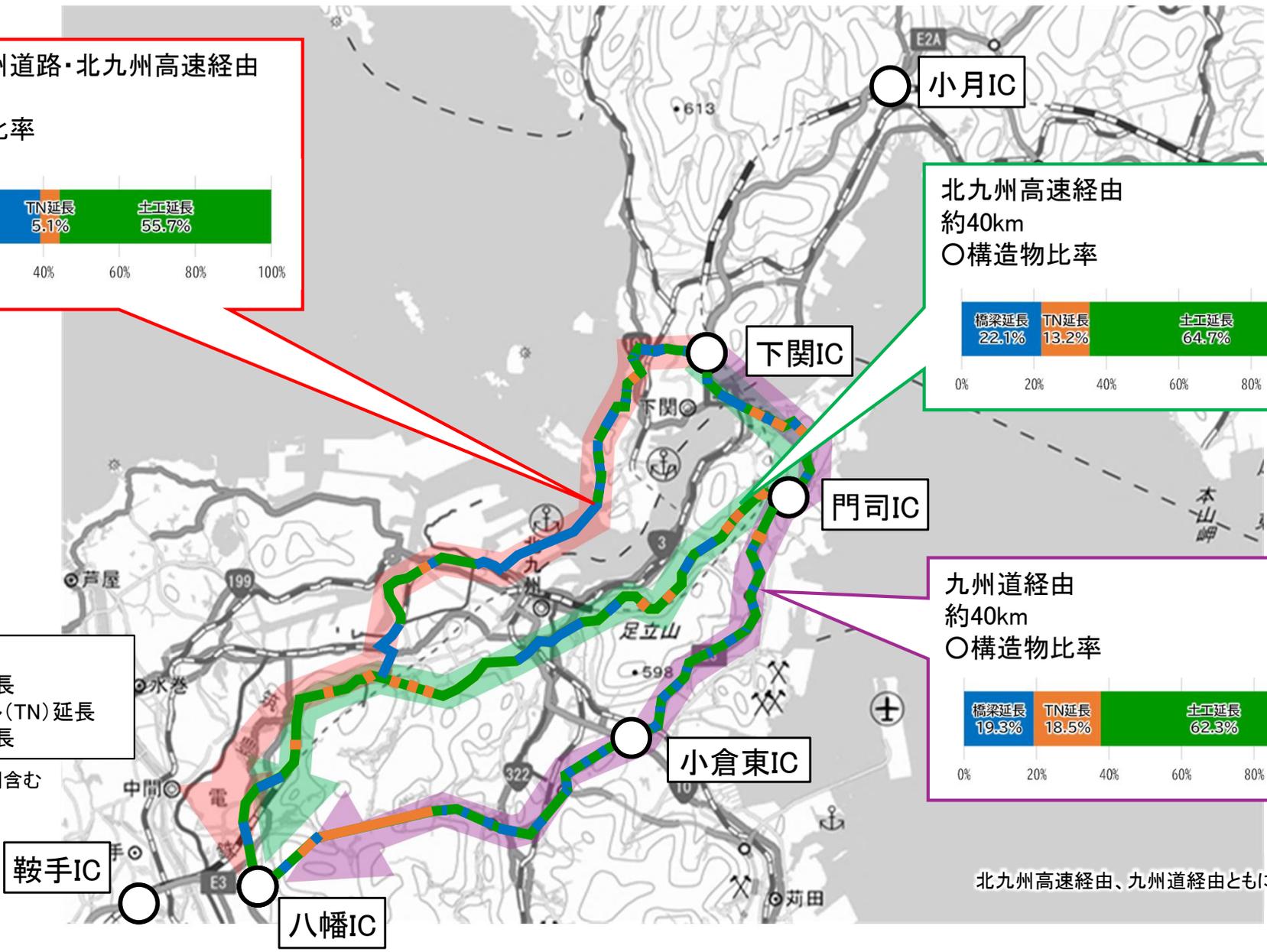
例：中国道・下関IC(山口県)→九州道・八幡IC(福岡県)の場合(ETC普通車)

令和8年2月現在



凡例
■ 橋梁延長
■ トンネル(TN)延長
■ 土工延長

※未供用区間含む



北九州高速経由、九州道経由ともに関門橋を通行

関門海峡周辺の経路別の供用年数

例：中国道・下関IC(山口県)^{しものせき}→九州道・八幡IC(福岡県)^{やはた}の場合(ETC普通車)

令和8年2月現在

